

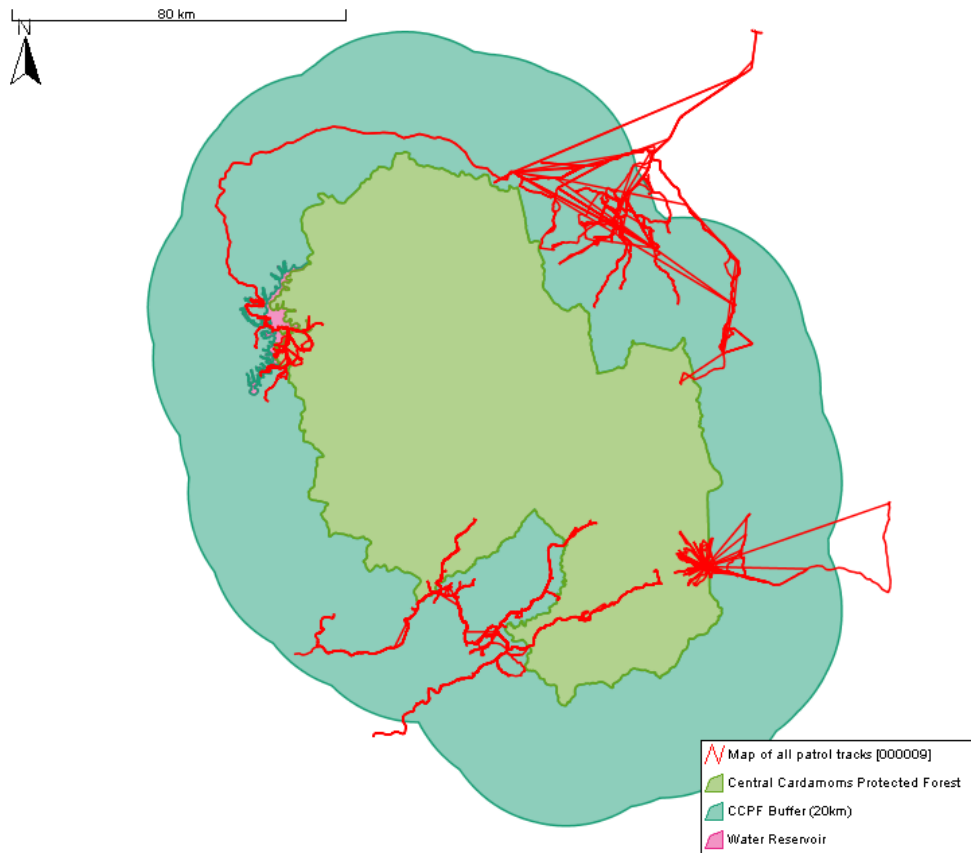
カンボジア
中央カルダモン森林保全プロジェクト

現地からのお便り

2015年4月
コンサベーション・インターナショナル

森林パトロール

引き続き、レンジャーたちはとても勤勉です。今期は中央カルダモン保護区の東側を重点的にパトロールしました。



2015年1～3月のパトロール実績

毎年1月から3月はカンボジアでは乾季なので、違法伐採が容易になります。毎月110回以上のパトロールを続けました。

パトロールの成果もあり、1月と2月の間は不法行為件数が少なかったのですが、3月になって急激に増えて13件になりました。違法伐採よりも密猟の方が多かったです。これは乾季が終わりに近づき水溜りが少なくなってきた、動物たちがそのまわりに集まってくるため、捕まえやすかったからではないかと思われます。逮捕者は出ませんでした、伐採器具はすべて没収しました。

カルダモンの森には、化粧品などの原料として使われるイエロー・ヴァインというツル性の植物が生えています。非常に高く売れるため、許可なく採集するために違法に森に入る犯罪がたえませんでしたが、今回のパトロール中には、違法採集者を見かけませんでした。市場価格が下落し、違法採集する価値が下がったからだと思われます。

コミュニティ支援

コミュニティのレンジャーたちは、自分たちの森を不法行為から守るため、今期も非常に熱心にパトロールをしました。のべ133日間、93名(女性も含む)のレンジャーたちが働きました。その中で、誰も森林の開拓といった違法行為に出くわさなかったことは、乾季であるこの時期としては驚くべきことです。

ダイキンさん来訪&「空気をはぐくむ森プロジェクト」始動！

2月にはダイキンの本社から2名、タイ支社から2名が来訪されました。CIスタッフやJICA、政府関係者も同行して、カルダモン保護区へ行きました。2月26日、CIのパートナーであるカルダモンの村で、住民たちも参加して、ダイキンさんの「空気をはぐくむ森プロジェクト」の始動を祝いました。



地元の小学校での記念植樹は、大切な森林資源を地元コミュニティが守っていくための協力体制が整ってきていることへの希望を象徴しています。カンボジア最大の森林だけでなく、経済的にも重要なトンレサップ湖の漁業のための水域をも含むカルダモン保護区を保全する活動が根付いてきています。記念植樹の後はカルダモン地域へ行き、コミュニティの住民たちと現地暮らしや最近の変化、さらには持続可能性への前進についても話しました。プロジェクトの目的や内容を皆がより深く理解する、非常によい機会となりました。



基金の設立

カルダモン保護区のための基金を設立する許可が、カンボジアの経済財務省からおりました！これは画期的な節目になります。ボードメンバーとなる組織も決まり、基金を運営するための管理マニュアルを最終化させていきます。

中央カルダモン森林保全プロジェクト基金を紹介する、2 ページのパンフレットを作りました。

